

令和5年度

創立記念式典 及び 記念講演会

江頭 猛さん(高校36回生)

2023年5月10日に
創立記念式典が開催されました。

創立記念式典ではまず花田同窓会長が、「記念式典の目的・狙いは、今日までの母校の存続・発展を祝うこと、同時に全国3万人以上の卒業生の母校に対する思いに誇りと自信を持ってほしい」と挨拶され、女学校から男女共学の東高校になった時のお話や、学区制の歴史を紹介されました。また90周年記念誌に掲載されている学校新聞記事から「昭和24年に校章の図案募集が行われ当時の生徒たちによって作られた校章であり、歴史・伝統が受け継がれている。生徒が主体的に活動する高校を存続し発展させていただきたい」とお話をされました。

続いて、篠崎校長が、記念講演会の講師がイラストを趣味にされていることに触れ、企業のロゴマークや学校の校章デザインには夢や期待、ストーリーがあり、「人生で大切なのはストーリーを作っていくこと」「本日の式典を通して皆さんのこれからの行き方に彩りが添えられることを期待します」と挨拶されました。

創立記念講演会の講師は、同窓会広報誌「東陵」の表紙イラストを約8年前からお願いしている高校36回生の江頭猛さんです。江頭さんは福岡県農業共済組合筑豊支所に勤務されており、以前は職場の広報誌の表紙イラストも描かれていました。大学時代は漫画研究会に所属し多くの作品を手掛けられ、若い頃は漫画家を目指して出版社に作品を持ち込んだこともあるそうです。

趣味は多彩で、二輪のフリー走行ライセンスを取得して西日本サーキットで走行、ポディビルでは2008年福岡県大会マスターズクラス3位、最近では花好きで自宅の庭にはバラなど多くの花を植えられて、ご近所の方も鑑賞に来られているとか。地域活動では消防団・自治



江頭 猛さん



会・敬老会・山笠・上三緒そば会など活躍されています。

就職後、自らの失敗もありクレームの嵐、心が折れて退職を考えたこともあるが、相談したぶどう農家の方から「自分は百姓に誇りをもっている。米・果物など国内の作物をしっかりと作って日本人の命を助けている。君の仕事は何か、そういう農家を災害や作物の病気が発生した時に助ける仕事では？誇りをもって働かんか」とひどく叱責されたことで、「自分の仕事って何だろう、クレームもあるけど感謝されることもある、社会の役に立っているはず」と続ける決心をし、それから35年勤務してきたそうです。

「ぶどう農家の方との出会いがあって今の自分がある、出会いは人を変える、人だけでなく本との出会いでも、旅行でもよい、多くの人と出会って研鑽を積んで目標に向かってください」とエールをいただきました。



江頭さん独特の「ほっこりするイラスト」は毎回、多くの方々から大変ご好評いただいております。これからもよろしく願いいたします。

広報部
伊藤 浩之(高校32回生)



花田同窓会長



篠崎校長